

専門ガイド中島すい子さんと 魚沼の里に残る「石川雲蝶」の作品群を訪ねて

抽選企画
イヤホンガイド付

1泊2日

越後の名匠と言わながら未だ知る人の少ない「石川雲蝶」の作品の魅力を探しに行く旅です。石川雲蝶は江戸時代末期に江戸に生まれ、幕府御用勤めの彫師として20代のころから活躍していました。縁あって越後にうつり40年余の後半生に1000体の作品を残しました。木彫・石彫のみならず絵画も見事です。激動の時代の中で長らく埋もれていましたが、近年「日本のミケランジェロ」と評価されるようになりましたがまだ広く知られているわけではありません。その作品はときに力強く、ときに豊艶で見る者の心をとらえて離しません。160年前に雪深い魚沼の里に遺された渾身の作品群を巡り、作品の見えないところに隠されている雲蝶の遊び心をご一緒に探してみましょう。雲蝶の魅力のとりことなった専門ガイドの中島すい子さんが私たちが見落とすような細かなところにまで丁寧な説明をしてくださいます。

1日目 古民家での伝統の郷土料理と雲蝶の作品を訪ねて

越後湯沢駅に到着後、150年前に建てられた越後の典型的田舎作りの「櫻苑」で四季の恵みを生かし、ひとつひとつ丁寧に調理された郷土料理をいただきます。午後はいよいよ雲蝶の制作した欄間や襖絵の残る八海山龍谷寺を拝観し、近くの村落にひっそりと佇む小さなお堂の穴地十二社に残された雲蝶の作品を訪ねます。お宿は越後湯沢の「松泉閣花月」です。



ガイドの中島すい子さん紹介

「石川雲蝶の作品を堪能するツアー」の専属ガイド。2015年南魚沼雲蝶会を設立し、石川雲蝶の全国的デビューを目指して活躍中。著書に「私の恋した雲蝶さま」、DVD「石川雲蝶作品巡り」。



2日目 圧巻の西福寺開山堂と 針倉山永林寺に遺された作品を鑑賞

西福寺開山堂に残る雲蝶の代表作「道元禪師猛虎調伏之図」は天井一面に極彩色の透かし彫りが施され、見る者を圧倒し見飽きることがありません。それとは対照的に針倉山永林寺の欄間の天女の透かし彫りはたおやかで豊艶、雲蝶の理想とする女性像を想像してしまいます。二つの作品の対比をお楽しみください。昼食は魚沼名物の「へぎ蕎麦」を召し上がっていただきます。午後は塩沢宿牧之通りをガイドと散策します。かつて三国街道の宿場まちとして、また「塩沢紺」の織物の町として発展していましたが人口減少・高齢化でさびれています。近年、官民一体でまちづくりに取り組み伝統的な雁木と



切妻屋根の続く美しい街並みが蘇りました。石川雲蝶とも縁の深い寺や宿場時代からのお店などが残っています。江戸時代末期、雪国の気象・生活・文化について書かれベストセラーとなった「北越雪譜」の著者として知られる鈴木牧之の生地であり、生活していた町でもあります。



旅行期間 2026年5月17日(日)~5月18日(月)

旅行代金 2名様 1室利用 (お一人様) 100,500円
※1名様1室 追加代金1,100円(1泊) 募集人員 18名様
(最少催行人員8名様)

宿泊ホテル 越後湯沢「松泉閣花月」(和室)

東京駅発(9:50~10:15) → (上越新幹線/普通車指定席)
越後湯沢駅着(11:10~12:10) → 「櫻苑」にて昼食(郷土料理) →
1 ○八海山龍谷寺拝観 → ○穴地十二社 → 越後湯沢「松泉閣花月」着(16:00頃) → 夕食
食事:朝×・昼○・夕○

ホテル出発(8:30) → ○西福寺開山堂拝観 → ○針倉山永林寺拝観 → 「田畠屋」にて昼食(へぎ蕎麦) → ○塩沢宿 → 越後湯沢駅発(17:15~17:45) → (上越新幹線/普通車指定席)
東京駅着(18:40~19:00) 食事:朝○・昼○・夕×

★本企画は抽選受付です。締切:2月13日(金) 抽選結果は2月16日以降、順次ご連絡します。

添乗員/同行します 食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回

交通機関/JR上越新幹線(普通指定席)、中型または小型貸切バス
(予定運行会社/銀嶺バス)

集合場所/東京駅新幹線ホーム

ご案内 ※スケジュールは天候状況・現地事情により日程の一部が変更される場合があります

コース番号:11-8031-0008



永林寺